

研修会の変遷から 尼崎市私立幼稚園連合会を振り返る

～主に『各園分科研究の集録』から～



昭和59（1984）年度から平成7（1995）年度の
『各園分科研究の集録』

昭和41年に尼崎市私立幼稚園連合会が初めて研究会を開きました。

昭和49年7月29・30日に新潟県で行われた日本私立幼稚園教育研究全国大会では、本連合会加入園の水堂幼稚園・上村政子先生、常光寺幼稚園・中澤俊子先生が研究を発表されている記録も残っています。

本連合会の研究会は、やがて毎年夏休み中に、夏季研修として実施されるようにもなります。

本連合会が実施してきた研究会は、今日も続いています。尼崎市私立幼稚園連合会の歴史を振り返るうえで、欠かせない記録です。



尼崎市私立幼稚園連合会の
公式印

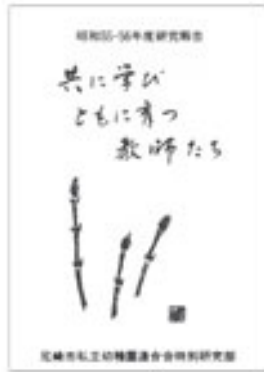
今日では尼崎市私立幼稚園連合会の公式文書は主にメールで送受信されるため、以前のようにこの公式印が使われることはないが、長年使われていた痕跡が連合会の歴史の長さを物語る。

昭和51(1976)年度



尼崎市私立幼稚園連合会
(55) 7.22小園村研修にて

▶小園村研修前にて
毎年長期休みに、1泊2日、2泊3日
で研修を行った。夏には野外活動や
キャンプファイアーの研修などが、冬
には室内遊びの研修などがあり、講師
にはいずれも尼崎市教育委員会の方を
招いた。現存する写真は少ないが、研
修を通じて加入園・保育者間の親交が
深まっていた。



昭和55(1980)年度事例研究会表P.4(右)
干刈セミナーハウスでの夏期宿泊研修会の内容P.14(左)
P.21、22より抜き出し(下)▼
▲昭和55・56年度研究報告
「共に学び、ともに育つ教師たち」による

4. 夏期研究会報告

日	時間	内容	講師
7月27日	10:00-12:00	開会式	園長
7月28日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月29日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月30日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月31日	10:00-12:00	園長講話	園長

5. 夏期研究会報告

日	時間	内容	講師
7月27日	10:00-12:00	開会式	園長
7月28日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月29日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月30日	10:00-12:00	園長講話	園長
7月31日	10:00-12:00	園長講話	園長

昭和59(1984)年度

昭和59年度 園庭での自由保育の考察
常光寺幼稚園

月	日	内容	講師
7月	27日	開会式	園長
7月	28日	園長講話	園長
7月	29日	園長講話	園長
7月	30日	園長講話	園長
7月	31日	園長講話	園長

▲研究主題の例
園庭での自由保育の考察(常光寺幼稚園)
「園庭での自由保育の考察」は、いくつかの研究主題の一つ(以降の年も同様)。この年も干刈セミナーハウスにて。
【この年度の主な内容】
・ 絵画製作
・ 劇遊び
・ 保育困難児への援助について

昭和60(1985)年度

昭和60年度 園庭での自由保育の考察
常光寺幼稚園

月	日	内容	講師
7月	27日	開会式	園長
7月	28日	園長講話	園長
7月	29日	園長講話	園長
7月	30日	園長講話	園長
7月	31日	園長講話	園長

▲研究主題の例
「共に学び、ともに育つ」
各園の特色である保育を取り組みを各園が研究主題(テーマ)として掲げ、研修が進められる。

昭和55(1980)年度

昭和61(1986)年度

昭和61年度 園庭での自由保育の考察
常光寺幼稚園

月	日	内容	講師
7月	27日	開会式	園長
7月	28日	園長講話	園長
7月	29日	園長講話	園長
7月	30日	園長講話	園長
7月	31日	園長講話	園長

▲研究主題の例
子どもたちひとりひとりに成就感を与えるにはどうすればよいか(立花愛の園幼稚園)

昭和62(1987)年度



▲教員夏期宿泊研修の様子
昭和62(1987)年7月22、23日(1泊2日)
高野山参加・99名講師・辻本先生と教育委員会より4名(上・辻本先生の講義/下・随芸大会の後、若い先生方の総踊り)

各園での障害児の様子を聞いたり、その子に対する指導の方法などをいろいろな角度からいつもより精密に知ることができ、細かい配慮の仕方も分かりました。少しでも聞き返すと後の話が分らなくなるので真剣に聞くことができました。
まこと幼稚園 M.M.
◎毎月の研究会について
経験豊かな古永先生のお話をいただき、障害児の見方や接し方の勉強になった事はもちろんですが、ケースワーカーの心構えなど良いお話も聞きとても勉強になります。
慈愛幼稚園 T.T.
私達が想像出来ないほどたくさんのお話をもらった子どもたちがいるのに驚いています。また、年々多くの幼稚園でその子どもたちを保育しておられるのにもびっくりしています。しかし勇気を出してはだめですね。少しでも成長・発達の助長となるよう、努力したいと思います。
水堂幼稚園 H.N.
毎月の研究会はいつも楽しみにしています。この研究会はグループで話し合いますので「ひとりひとり参加している」という意識が高く、1つの事例についても深く考え、話し合うので古永先生のお話もよく理解でき「なるほど」とうなづくことが多くあります。
たけぞの幼稚園 K.O.
毎年障害のある子どもを担任しますが、ひとりとして同じ状態の子はなく、毎年新しい課題がぶつかります。参加された先生は皆さん温かく熱心に勉強しておられ「私もがんばろう」とふるい立たせてくださいました。
園田慈愛幼稚園 T.T.

【55年度を振り返って(毎月の研究会と夏期宿泊研修会について)】
55年度は6月から56年3月まで毎月1回計9回の事例研究会をいつも同じ形式で行い、司会者も、書記も、発表者も皆が順番に経験して、アウトサイドにいるのではなく、自分も参加しているという意識に立って自分たちの研究会としての実りを身につけた事と思います。3月までに提出された事例のすべてについて共に考え、講師の指導を受けました。初めての夏期研修会も行いました。出席できなかった先生方の感想をお聞きしました。次に感想の一部を紹介します。
◎宿泊研修会について
今年の夏の研修会ほど充実した研修ははじめてでした。閑学セミナーハウスの静けさ、まわりの木々の緑、今思い出してもすがすがしい気持ちでいっぱいです。研修を終えた後、心が豊かになったような気がしました。9月になって改めてお母さんと話し合った結果、お母さんが今まで言わなかった事もうちとけて話して下さるようになりました。お母さんとの話し方を少しでも勉強させていただいたおかげだと思います。
杭瀬幼稚園 T.N.
私は保育1年生ですが、この研修会で先輩や先生方のお話を伺い「なるほど、こんな考え方も出来るのか」とか「こんな事にも気をつけるべきなのか」とか「この事の原因はこんな所にあるのか」といろいろな見方・感じ方があることが分かりました。
滝江幼稚園 K.M.
子どもの話をよく聞き、認めていく事が言葉の発達の上では大切な役割を果たし、自立心・情緒・創造・知識など多方面にわたる全般的な発達を保障していく事にもつながるのだと学び、新たな気持ちで子どもに接していきたいと考えました。
母留幼稚園 K.T.
みんながそれぞれ司会・発表・書記の責任をもち、話し合いの進め方も上手になりました。自分につとまるかと不安でしたが、実際にやってみて責任を果たすことができ、良い勉強になりました。
神崎製紙付属幼稚園 K.K.

昭和63(1988)年度

教員夏期宿泊研修
昭和63(1988)年7月19～20日(1泊2日)
静岡県掛川市満水
2000番地
つま恋にて。

改訂版「幼稚園教育要領」平成2年施行に伴い、5領域についてなどの研修を行った。

平成元年度(1989年度)

- ▼「尼っ子の豊かな体験 1園外保育ガイドブック」発行
- 【この年度の主な内容】
- リズム・表現遊び
 - 教育課程の改訂と保育者の使命、幼児に自己活動を促す保育
 - 心のアンサンブルを育てよう
 - 幼児が喜んで絵画表現するための援助の仕方
 - 幼児自身のイメージを動きや言葉などで表現するための援助の仕方について
 - 表現力が育つ遊び歌とストーリーテリングについて
 - 教師の指導・援助のあり方について
 - 環境としての手作り教材



平成2(1990)年度

- 教員夏期宿泊研修
平成2(1990)年8月20～21日(1泊2日)
Y M C A 六甲センター
参加・17園 150名
- 【この年度の主な内容】
- 環境としての手作り教材について/教材製作
 - 劇遊び
 - 絵画製作
 - 運動会に備えて

平成3(1991)年度

- 教員夏期宿泊研修
平成3(1991)年8月19～20日(1泊2日)
京都府田辺市 中心山荘
- 【この年度の主な内容】
- 心と体を育てる体育遊び
 - 表現としての音楽リズム
 - 感情豊かな人間づくりに役立つ楽しいレッスン
 - 絵を描くのが好きな子どもを育てるために

平成4(1992)年度

- 教員夏期宿泊研修
平成4(1992)年8月19～20日(1泊2日)
兵庫県播磨郡塩田温泉「夢の井」
- 【この年度の主な内容】
- 楽しい運動会の種目と演出
 - 子どもの心を豊かにするストーリーテリング
 - 新しい保育の展開と幼児理解
 - 障害児教育
 - 運動遊び
 - 歌遊び・手遊び
 - 造形

平成7(1995)年度

園内研究 テーマ「災害の危機管理(慈愛幼稚園) 阪神淡路大震災を受けて、全国に先駆けて取り組む。

園内研究 テーマ 災害の危機管理 慈愛幼稚園

【この年度の研究内容】

1. 園内研究の目的と意義
 - (1) 園内研究とは、園児、教員、保護者、地域社会が互いに協力して、園児の成長と発達を促進するための活動である。
 - (2) 園内研究は、園児の興味・関心に基づき、園児自身が主体的に参加し、自ら発見・学習していくものである。
 - (3) 園内研究は、園児の個性や能力を伸ばすだけでなく、園児の社会性を育て、協調性を高めることにも役立つ。
2. 園内研究の計画と実施
 - (1) 園内研究の計画は、園児の興味・関心に基づき、園児自身が主体的に参加し、自ら発見・学習していくものである。
 - (2) 園内研究の実施は、園児自身が主体的に参加し、自ら発見・学習していくものである。
 - (3) 園内研究の評価は、園児の成長と発達を促進するための活動である。
3. 園内研究の成果と今後の展望
 - (1) 園内研究の成果は、園児の成長と発達を促進するための活動である。
 - (2) 園内研究の今後の展望は、園児の成長と発達を促進するための活動である。

園外保育のガイド 日次

園外保育の種類	実施時期	実施内容
自然観察	4月	公園散策、お花見
動物観察	5月	動物園訪問
工場見学	6月	製パン工場見学
博物館	7月	歴史博物館訪問
野外活動	8月	キャンプ、登山
職業体験	9月	消防署体験
文化体験	10月	お祭り参加
その他	11月	お月見会
12月	クリスマス会	

2008年改訂版「尼っ子の豊かな体験 1園外保育ガイドブック」

改訂前の冊子は手書き地図、ワープロを使用した文章作成など、手作りに頼っていたが、本冊子ではパソコンでの文章や地図作成、デジタルカメラでの写真撮影など、先進的な技術を取り入れ、フルカラーで印刷された。

記録冊子「各園分科研究の集録」は平成7年で発行が終了。研修会の実施は翌年以降もさまざまな形で続いていく。

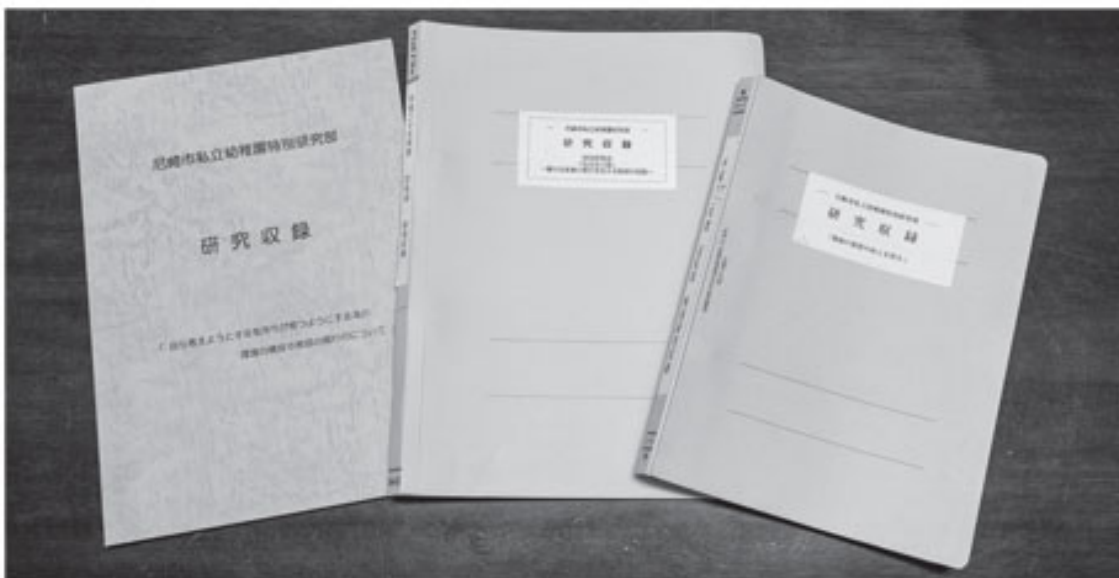
平成9(1997)年度に特別研究部が発足し、研究テーマとして「生きる力を育てる教師の役割について」(平成9年度)、「特別支援の必要な子への理解と援助」(平成10年度)、「一人ひとりを生かした集団づくり」(平成11年度)を取り上げた。

平成23(2011)年度より、文部科学省 幼稚園教育理解推進事業の協議主題に沿って年間研究テーマを設定し、養成大学の先生を指導助言者としてお迎えして合同研究を行っている。

平成12(2000)年度

尼崎市私立幼稚園特別研究部「研究収録」資料より

この年度から、「各園分科研究の集録」より形を変えて、記録資料が作成されることとなった。



平成12(2000)年度からの主なテーマ

平成12(2000)年度	教師の役割と援助
平成13(2001)年度	保護者との関わりについて
平成14(2002)年度	幼児理解と援助の専門性～家庭との連携～
平成15(2003)年度	教師の援助について～一人ひとりの子どもの発達課題を見つめて～
平成16(2004)年度	人との関わり～生きる力の芽生え 3・4・5歳児～
平成17(2005)年度	園内の自然環境と遊び
平成18(2006)年度	幼児期の自然との関わり～園外教育を通して～
平成19(2007)年度	いま、最も関心のある三つのテーマによる考察～1.一人ひとりを大切にする製作活動 2.幼稚園における子どもの集中力とは 3.気になる子への関わり～
平成20(2008)年度	これからの預かり保育のあり方～新幼稚園教育要領が示す重要性を鑑みて～
平成21(2009)年度	これからの預かり保育のあり方2～幼稚園教育要領をてがかりにして～
平成22(2010)年度	協同性を育む環境の構成や教師の関わり方 ～関わり育ちあう子どもたちの間で揺れる保育者～
平成23(2011)年度	協同性を育む環境の構成や教師の関わり方
平成24(2012)年度	教師の役割を考える <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>▶この年はさらに、大妻女子大学の岡健先生を招いて、当年度全日私幼の研修課題であるファシリテーションスキルについて「ファシリテーター育成と園内研修」のテーマで3日間5コマの講義を受けた。</p> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">2012.12.25</p> <p style="text-align: center;">尼崎私立幼稚園研究部</p> <h3 style="text-align: center;">ファシリテーター育成と園内研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○同僚性の足場をつくること ●こどもの観方に気づくこと ●保育を共に深めること <p style="text-align: center;">(応用編)ドキュメンテーションを保育とつげる</p> <p style="text-align: right;">大妻女子大学 岡 健</p> </div> </div>
平成25(2013)年度	伝え合う姿 豊かな言葉の育ちを支える教師の役割
平成26(2014)年度	自ら考えようとする気持ちが育つようにするための環境構成や教師の関わりについて
平成27(2015)年度	主体的に活動しようとする子どもの育ちを支える保育環境と教師の援助について
平成28(2016)年度	年齢別の事例を「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」10項目に照らしてグループで検討
平成29(2017)年度	写真から編み上げる保育・教育課程～全員参加型のカリキュラム・マネジメントを目指して～(予定)

※養成大学の指導助言者：平成23～26年度／瀧川光治先生（当時・関西国際大学准教授、現在・大阪総合保育大学教授）
：平成27年度～／鈴木正敏先生（兵庫教育大学准教授）